

令和6年度受賞

群馬県立安中総合学園高等学校

推薦者：群馬県立安中総合学園高等学校長

活動をはじめた時期：平成28年4月

～活動報告～

碓氷安中地域の小学生と水稻栽培による交流活動を年間通じて行い、その中で、昔ながらの農具を用いた伝統的な米作りや、今現在主流となっている田植え機・コンバイン等機械を使用した作業等、多くの体験を経験する中で、食や農に興味・関心の持てる活動を行っている（①4月籾播き、②5月田植え事前学習動画、③6月田植え、④7月かかしのアイディア募集、⑤8月稲の生育調査会・かかし設置、⑥10月稲刈り、⑦11月お米の試食会、⑧12月お米の勉強会と1校最大年間8回の交流活動）。また、コロナ禍の中で培ったICT等活用し、事前学習動画の作成など、新たな交流活動にも取り組んでいる。

地域の小学生が、地産地消を理解し、自分たちの暮らす地域の特産物や地域の特性を学んでもらう。また、交流活動を行う事で世代を超えたコミュニケーションツールとして高校生自身が学習・成長出来る機会となっている。また、碓氷安中地域の給食食材として提供している。

9 産地を
応援しよう



10 食・農の
体験をしよう



活動の様子

アイガモロボットお披露目



小学生が事前学習 動画を視聴する様子



足踏み脱穀機 ・唐箕を体験

